

2006年 2月 16日

各 位

杏林製薬株式会社  
東京都千代田区神田駿河台2-5  
(証券コード 4560 東証一部)

## ノバルティス社とのKRP-203に関するライセンス契約締結について

杏林製薬株式会社(代表取締役社長：荻原郁夫)は、ノバルティス社(Novartis AG)と、当社が創製した免疫抑制剤「KRP-203」に関するライセンス契約について、この度、下記の内容で締結しました。

1. 杏林製薬(株)はノバルティス社に対し、「KRP-203」についての以下の権利を供与した。
  - (1) 移植用の免疫抑制剤として、全世界の開発及び販売権
  - (2) 自己免疫疾患及びその他の疾患用剤として、日本、韓国、中国及び台湾を除く全世界の開発及び販売権(なお、炎症性腸疾患(IBD)用剤としては、杏林製薬(株)が全世界の権利を留保している)
2. 杏林製薬(株)はノバルティス社より契約一時金及びマイルストーンペイメントの支払いを受ける。また、発売後には杏林製薬(株)が原末の供給を行うと共に売上に応じたロイヤリティを受け取る
3. 杏林製薬(株)はクロスライセンス品についてノバルティス社が開発ないし販売中の製品を、日本において共同開発ないし共同販売する方向で合意し、具体的な品目については、今後交渉する。

当社は、研究開発において免疫・アレルギー領域を重点領域の1つとしております。本剤は、免疫領域の開発品であり、新規化学構造を有するスフィンゴシン1リン酸受容体アゴニストとして免疫抑制作用を示します。当社では新規性の高い免疫抑制剤として、既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高くかつ良好な臨床効果を示すものと期待しています。なお、本剤は当社が、日本国内において前臨床の段階で開発中です。

杏林製薬(株)は中期経営計画キョーリンMIC-09計画において「グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業」を掲げ、創薬への重点的投資と導出をゴールとする創薬ビジネスモデルへの転換を目指しています。この度、ノバルティス社と提携することによって、「KRP-203」の全世界におけるスピーディな開発と臓器移植などを必要とされる世界の患者様への早期貢献を期待するものです。

以 上

この件に関するお問合せ先

杏林製薬株式会社 経営企画部
TEL: 03 - 3293 - 3414
FAX: 03 - 3293 - 3454

## 参考資料

### ●ノバルティスの概要

設 立 : 1996年12月

会長(兼)最高経営責任者: ダニエル・バセラ (Daniel Vasella)

特 長 :

ノバルティスは、医薬品とコンシューマーヘルスにおける世界的リーダーです。ノバルティスグループ全体の2005年の売上高は322億米ドル(約3兆5,433億円)で、当期純利益は61億米ドル(約6,755億円)、研究開発費は48億米ドル(約5,330億円)でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約91,000人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。

### ●杏林製薬株式会社の概要

設 立 : 1923年12月

代表取締役社長: 荻原 郁夫

従 業 員 : 1,619名(2005年3月31日現在)

注力領域 : 呼吸器内科、耳鼻科、泌尿器科

特 長 : グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業を目指す製薬企業。創薬ビジネスモデルの進化とその創薬ビジネスを支える新たな事業の構築に取り組んでいる。営業部門は呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科に資源を集中し、研究開発部門は感染症・免疫/アレルギー・代謝性疾患を重点領域とする。